

# くるりのお便り



## 温故知新

### リサイクルで地域を活性化

先日40歳を迎えた私は、ふと今までの人生を振り返りました。

古紙回収を生業とした実家に生まれ、人生の半分をリサイクルとともに歩んできました。地球の未来を考えるなど大それたことは言えませんが、それでも北区の未来、北区のリサイクルに関して言えば少しは考えて行動しています。

そんな私の原点は何だったのか？

ふと思い出したのが飲み終わったコーラの瓶をお店に返すと10円もらえる、あのシステムです。

お小遣いをもらい乾物屋でコーラを買い、販売機に付いていた栓抜きで蓋を外し、一気に飲み干し瓶を返す。

お店の人にももらった10円を握り締め、「あんこ玉」を買いに駄菓子屋へ走る。

今、考えてみても何て素晴らしいシステムでしょ

う！

瓶は洗浄され再使用（リユース）、販売機の栓抜きに溜まった蓋は再利用（リサイクル）、このシステム自体が無駄なものを出さない発生抑制（リデュース）の役割を果たしていたのです。

私が小学生のころから3R運動は存在し、子どもが積極的に取り組み、地域の（乾物屋と駄菓子屋）活性化にも繋がっていたのです。

少しは大人になった私は考える、実はリサイクル活動の主役は子どもではないかと。

## 分別の時代

昨年8月に、ペットボトルのキャップを集め、売却益でポリオワクチンを寄贈する「エコキャップ運動」に協力し小学生二五九人が約二四八〇〇個のキャップを集めたという記事を見かけました。

このポリオとは「脊髄性小児麻痺」と言われ、流行している地域もあり、世界保健機構（WHO）では根絶を目指しています。成人にも感染しうるこの病は、ワクチンさえ接種すれば予防出来るものであり、エコキャップの売り上げが発展途上国の子ども達に使われていきます。

北区内でも多くの学校が取り組み、子ども達が積極的に協力しています。とても素晴らしい活動で、世界中の子どもが接種出来ることを望みます。

しかし、大人の私はもう一歩踏み込んで考えた。この活動で集めたキャップ二四八〇〇個の売り上げはわずか六二〇円（送料別）、1個当たり〇・〇二五円にしかありません。

暑い時期に集めたのならペットボトルのジュースを飲んだかもしれません。

二五九人が一五〇円のジュースを飲むのなら、それを我慢して寄付……

最近ではエコキャップが集まりすぎて運搬費用が問題になっています。

「あんこ玉」システムのように自分で届けられれば無料ですが……

ゴミにしないで何でもかんでもリサイクル、その考えを否定するつもりはありませんが、必要以上に経費が係り、区の財政を圧迫し、区民の負担が大きくなってしまつたら、少しでもお金が掛からないシステムを作る事が大人の役割です。

大人がサポートし、子ども達を中心としたリサイクル活動を展開していく、新しい時代を創る事こそが、私の使命かもしれません。

残りの人生で足りるかな？

（鯉淵）



1面で紹介した「あんこ玉」システムもそうですが、幼い頃から染み付いた事は大人になっても良く覚えているものです。葛藤があるからです。

夕焼けチャイルドに過敏に反応する、旅行に行く時はお菓子を買って行く、ファミコンの裏技コマンド入力、マンガのキャラクターの生い立ち等、くだらない事は特によく覚えていきます。

そして覚えたことはすぐ自慢したいのが子ども、信号の青と赤の違いを習った時には、信号無視をする人がいたら、大きな声で「駄目だよ！」と注意したものです。

ルールを守らない人にハッキリと注意出来るのも大人より子どもの方が大人としての役割です。

多岐かもしれません。大人には嫌われたくない、自分も出来ていない事があり自信がない等の葛藤があるからです。

## 編集後記

今年の冬のスポーツの話題と言えば、プロレス一色でしたな。

榎橋が、中邑が、オカダが、後藤がと職場もロシアも大盛り上がりでした。

若い頃はプロレス好きで、夜中までよくテレビを見ていましたが、一時期全く見なくなり、最近また、ちよくちよく見る様になりました。

ミィー丸出しで少し恥ずかしい。プロレスを語る上で避けては通れぬ議論。

多岐かもしれません。行っています。

リサイクルやエコは今や生活の一部、新聞やテレビ等で目にする事が多くなりました。

そろそろ学校の授業、特に今話題となっている道徳の授業では、ゴミの分別と資源化などのルールを教えてほしいものです。

冬期オリンピックの謎の競技モルルを覚える。と見る目も変わり楽しめる競技でした。心地良い寝不足を日本選手団の皆さんありがとうございました。

（PN 同世代の葛西が最年長とか言われるとちょっと切ない）

「プロレスなんて八百長だらけ？格闘技の方が上だ」

なんと愚かで嘆かわしい考えだろつ。

むしろ哀れだ。

相手の出した技を避けず。格闘技の方が上だ。

相手が技をかけるまで待つ。

ジャイアント馬場の動きはスローではない。

これはルールなのである。

命がけでルールを守り、四角いリングで繰り広げられる熱きバトルエンターテイメント。

これがプロレスである。

サッカーは手を使わない。フィギュアスケートには、採点基準がある。

モーゲルやスノーボードも然り。

ルールがあるから技術が輝き、努力が栄光へと変わる。

プロレスに興味が無い、読者の皆様よ!!友よ!!

これを機に是非プロレスの世界へ足を踏み入れてみては如何か。

（サクマ ダイスケ）



集団回収・事業系回収のお問い合わせはこちらへ!

取り扱い品目: 新聞、雑誌、段ボール、上製紙、古布(古織)

パックナンバーのご要望がありましたらご連絡ください。ご意見ご感想等もお待ちしています!

http://www.kitaku-rila.jp/

TEL 03-3910-1290 / Fax 03-3910-1263

集団回収のオススメ

北区から報奨金が支払われます(1kgあたり6円)通常は月1回でしたが、週1回から回収いたします。積み込み作業に手を貸せなくても、周知活動にご協力いただければOK! どんな事でもお気軽にお問い合わせください。いつでもご説明に伺います。